

| 質問事項 | | 選択式回答 | 記述式回答 |
|------------------------------|--|---------|--|
| 経済動向 | | | |
| 1 | <p>'2015年1月中旬から下旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年10月中旬から下旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。</p> | 良くなっている | 雇用が改善し、総賃金所得が増加しているので、やがて消費も増えていくと考えられる。また石油価格の継続的な下落は、輸入国である日本の付加価値生産性を高め、持続的にGDPを押し上げる効果がある。 |
| デフレ脱却・経済の好循環の継続に向けた取組 | | | |
| 2-1 | <p>「経済財政諮問会議における今後の課題について」(平成26年12月27日経済財政諮問会議 甘利経済財政政策担当大臣提出資料)をご覧いただき、特に強化・加速すべきとお考えになる取組について具体的なご意見がございましたら500字以内でご記入ください。</p> | - | 公務員を含む労働者の退職金や年金制度を、中途退職者や中途採用者に不利にならない制度に移行し、労働者が自分の一番貢献できる分野を選択するのを促進する必要がある。その結果、生産性は多くの分野で向上し経済全体が活性化するであろう。 |
| 2-2 | <p>質問2-1でご提案いただいた取組について、その背景となる具体的な事例やモデルがあればご紹介ください。</p> | - | 長期的には、退職金や賦課方式の年金制度を、持ち運び可能な積立方式の年金制度に移行しなくてはならない。その際発生する積立金不足については、政策的に徐々に解消する必要がある。 |